

人生100歳時代と 向き合いながら

高齢者が安心して、元気に、
いきいきと暮らせる社会へ

写真は、第11回かながわ感動介護大賞
優秀賞「命を繋ぐ花」に登場するお二人。
認知機能の維持に役立つようにと始めた
折り紙が、施設の利用者や職員、そのお子
さんまで笑顔でつなぐお話です。年齢を重ねても元気にいきいき暮らせるよう認知症
未病改善に向けて取り組むことが重要です。

かながわ感動
介護大賞について
詳しくはこちら



7月31日まで
エピソードを募集しています。



認知症未病改善については ②③ でご紹介

超高齢社会が進む中、介護や支援が必要な高齢者が急増しており、2040年には神奈川県でも約4万6千人の介護人材が不足すると予測されています。

県では「高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり」を目指し、介護人材の確保や定着支援に向けた取り組みに力を入れています。

介護はきつい仕事という面が強調されがちです。しかし、高齢者お一人お一人の思いに寄り添いながらサポートする介護は、高齢者の日々の生活を心豊かにするだけでなく、介護する側にも喜びや働きがいをもたらす、とても魅力的な仕事です。

そうした介護の仕事の素晴らしさを広く知っていただくため

に実施しているのが、「かながわ感動介護大賞」です。介護にまつわる心温まるエピソードを寄せていただき、介護を受けて応募された方と、介護した方の双方が表彰される県独自の取り組みです。素晴らしい介護を受けた側が、「ありがとう」の気持ちを伝える場にもなっていて、私自身、いつも胸が熱くなる思いをしています。

県はこれからも介護の仕事に誇りとやりがいを感じられる環境を整えるとともに、介護する側もされる側も笑顔で過ごすことができる社会を築いていきたいと思っています。



神奈川県知事 山本 直人

県の人口と世帯
(令和6年4月1日現在)

総人口



9,218,071 人



4,567,488 人



4,650,583 人

前年同月比



4,037 人減

世帯数



4,374,227 世帯

県のたよりホームページ版

<https://www.pref.kanagawa.jp/tayori/>



高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会へ

県は、高齢になっても健康で元気に暮らすことができるよう、認知症未病改善の取り組みを推進しています。高齢者が、住み慣れた地域や家庭において、自立した生活ができるよう支援し、健康づくりを進めます。

誰もが気軽にできる コグニサイズ

県は、「コグニサイズ」の普及に取り組んでいます。簡単な計算やしりとりなどの課題を運動とともに行うことで、脳と身体の機能を効果的に向上させることが期待されます。

コグニサイズとは 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターが開発したコグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせた造語です。



二人でしりとりをしながらウォーキング

詳しくはこちら



家族や周りの人と一緒にやってみませんか 未病指標(認知機能等測定アプリ)

認知症は、生活習慣が深く関係していることが分かってきています。県は、認知機能や生活習慣などの状態を数値等で見える化する「未病指標」をスマートフォンアプリで無料で提供しています。



詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】未病指標については県のち・未来戦略本部室 ☎045(285)0778 FAX 045(210)8865
コグニサイズ、かながわオレンジ大使、「認知症」早期発見のめやす、認知症に関する各種相談窓口については県高齢福祉課 ☎045(210)4846 FAX 045(210)8874

認知症とともに生きる かながわオレンジ大使

認知症の方ご本人が思いを直接伝え、その人らしい活動を発信する「かながわオレンジ大使」。公募により決定した12名の大使が、さまざまな場で認知症についての正しい理解を伝えるための活動を行っています。

詳しくはこちら



私の目標、 100歳までマンドリンを続ける。

聴いてくださる方、皆さんと一緒に幸せな気分になれる。こんな幸せなことってないですよね。私にとって認知症というのは、ごく普通のこと。特別なことでもなんでもありません。

かながわオレンジ大使
望月 省吾さん

家族がつくった 「認知症」早期発見のめやす

(公益社団法人 認知症の人と家族の会 作成)

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を「認知症の人と家族の会」が、会員の経験からまとめたものです。医学的判断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

- 物の忘れがひどい
- 判断・理解力が衰える
- 時間・場所がわからない
- 人柄が変わる
- 不安感が強い
- 意欲がなくなる

詳しくはこちら



認知症に関する各種相談窓口

県は、認知症の方やそのご家族のお悩みの解決に少しでも役立つよう、認知症コールセンターや認知症疾患医療センターなどを設置し、さまざまな相談にお応えています。日常生活のちょっとした変化に気付いたら、まずはご相談ください。

かながわ認知症コールセンター
公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部 ☎045(755)7031
月・水曜 10時～20時
土曜 10時～16時
(年末年始を除く)

よこはま認知症コールセンター
公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部 ☎045(662)7833
火・木・金曜 10時～16時
(年末年始を除く)

**川崎市認知症コールセンター
「サポートほっと」**
NPO法人 川崎市認知症ピアサポートセンター ☎044(932)0341
月・火・木・金曜 10時～16時
第1・第3日曜 10時～16時
第2・第4木曜 10時～20時
(祝日、年末年始を除く)

認知症疾患医療センター

認知症の専門医療相談窓口として患者さんご自身、ご家族などを対象に専門スタッフが電話や面接で相談に応じます。

詳しくはこちら



かながわケアラー支援ポータルサイト

認知症の方のご家族からの相談も電話やLINEで受け付けています。

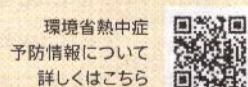
詳しくはこちら



本格的な暑さに備えて! かながわの熱中症対策 STOP! 熱中症

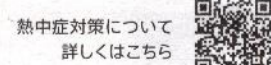
熱中症警戒アラートや熱中症特別警戒アラートが発表された時は特に注意するとともに、本格的な暑さを迎える前から対策を進めましょう。

熱中症特別警戒アラート(熱中症特別警戒情報)が新設されました! 環境省のLINE公式アカウント、メール配信(「すぐメールPlus+」)で熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート、暑さ指数が確認できます。



今からできる! 熱中症対策

- ▶ 小まめに水分補給する。
- ▶ 暑さを避け、エアコンなどを上手に活用する。
- ▶ 十分な睡眠をとり、規則正しい食生活を心がける。



【上記記事に関する問合せ】県健康増進課 ☎045(210)4784 FAX 045(210)8857

ともに生きる: 今月は、JICA横浜 海外移住資料館 館長 大野 裕枝さんに伺いました!



幅広い方々に楽しんでいただけるJICA横浜 海外移住資料館にお越しください!

当館は、海外移住の歴史や日系人についてのさまざまな展示があり、その暮らしや想いを想像しながら多文化共生を学ぶことができます。2年前に、ユニバーサルデザインを強化し、点字解説や多言語版音声ガイド、触れることのできる展示などを導入し、多くの特別支援学校の生徒や障がいのある方々にご来館いただいています。先日、当館スタッフがボランティアガイド研修会で、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念や当事者目線の障がい福祉における「本人の気持ちになって考える」大切さを学びました。今後も年齢、国籍、障がいなどにかかわらず多くの方々に楽しんでいただける「ともに生きる」資料館を目指していきます。

海外移住資料館についてはこちら



JICA横浜 海外移住資料館 館長 大野 裕枝さん



ともに生きる社会
かながわ憲章

ともに生きる社会 かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

憲章についてはこちら



【上記記事に関する問合せ】県共生推進本部室 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854